



きゅうしょくだより



新しい年が始まりました。昨年は苦手な食べ物を少しずつでもがんばって食べている人や、4月の頃よりも給食の量をしっかり食べられるようになった人がたくさんいました。今年も食べ物や自分の体を大切に思いながら、食事をしてほしいと思います。給食室では、おいしく安心できる給食を提供できるよう努めていきます。

☆1月24日は給食記念日です☆

今から70年前の1945年、日本は戦争が終わった後で食べるものが少なく、みんながおなかをすかせていました。多くの子どもたちが栄養失調になっていました。日本の子どもたちの様子をみてアメリカから、脱脂粉乳や小麦粉、缶づめがたくさん送られ、1946年12月24日に再び学校給食が始まりました。12月24日は、学校の冬休みと重なるため、1か月遅らせた1月24日が学校給食の記念日となりました。1月24日から1月30日までの1週間は、全国学校給食週間となっています。曾我小学校では、1月19日から1月23日を給食週間とし、給食に関心を持てるような取り組みを行います。

【セレクト給食】…前もって自分で選んだ給食を食べます。

【リクエスト給食】…主食で食べたい献立のアンケートをとりました。全校で1番人気のあったメニューを取り入れました。

【おだわら献立】…小田原で収穫された大根や小松菜、里芋などを使ったメニューや小田原の地場産品である「あじ

の干物」を油であげた「あじのバリバリあげ」をだします。

【ゲスト給食】…日ごろ、給食と一緒に食べることの少ない先生や調理員さん、校務用員さんと一緒に給食を食べます。

☆その他にも、保健給食委員会による集会を行い、「給食室の様子」を撮影した映像を、給食時間に放映する予定です。

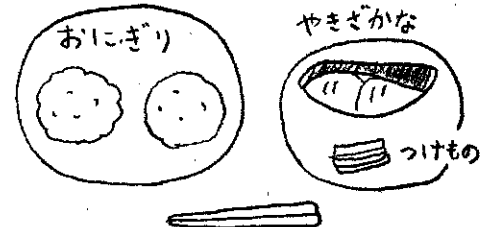
学校給食のはじまり

明治22年(1889年)に山形県の鶴岡町(今の鶴岡市)の私立忠愛小学校

とうじ
当時のこんだて

において昼食を提供したことが、日本での学校給食のはじまりといわれています。

当時、鶴岡町の各寺院の住職たちが中心となり、子どもたちのための教育の場として「忠愛小学校」を大督寺の中につくりました。しかし、子どもたちの大半が弁当を持参することができない貧しい家庭だったことから、住職たちが学校給食を提供しました。



大督寺の境内には「学校給食発祥の地」という記念碑がたてられています。

今月の曾我小学校産のたべもの(予定)…もちごめ

今月の小田原市産のたべもの(予定)…こまつな・だいこん・さといも・はねぎ・もやし・みかん

【小田原市の12月分給食用食材放射性物質検査の結果】

かぶ(千葉県産)(橋共同調理場)・ブロッコリー(香川県産)(山王小学校)…不検出でした。